

臨床検査技術科

株式会社テクノメディカ
採血業務支援システム一式

- 自動採血・採尿受付機「AI-500」
- 自動採血管準備装置「BC・ROBO-8001RFID」
- 患者呼出・患者照合装置「採血情報端末」

はじめに

当院では、1日に500名から650名程度の外来患者さんが採血に来られます。採血は、病気の診断・病状の把握・治療効果の判定のために、必要不可欠な医療行為です。

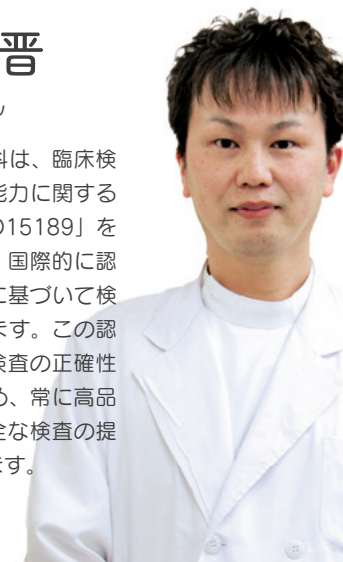
2025年1月、当院では採血業務支援システムを更新し、より安心・安全な採血環境を整備しました。今回は、患者さんにとって最も身近な医療機器である「採血業務支援システム」についてご紹介します。

臨床検査技術科
外来検査課

秋山 晋

あきやま・しん

臨床検査技術科は、臨床検査室の品質と能力に関する国際規格「ISO15189」を取得しており、国際的に認められた基準に基づいて検査を行っています。この認定を通じて、検査の正確性と信頼性を高め、常に高品質で安心・安全な検査の提供に努めています。



はじめに

採血室では、すべての診療科の4歳以上の外来患者さんを対象に採血を行っています。採血は国家資格を持つ臨床検査技師が担当しており、患者さんの取り違えなどの医療事故を防ぐため、採血業務支援システムを活用し、細心の注意を払って対応しています。

また、採血の手技は検査結果に影響を与える可能性があるため、検査を担う臨床検査技師が採血を行うことで、より正確な検査結果の提供を可能にしています。

さらに、検査結果を迅速に医師へ届けるため、採血室と検体検査室を検体搬送専用の小型リフトで直結し、採血後すぐに検査が開始できる体制を整えています。

採血環境の整備

システム導入以前は、採血受付を受付スタッフがすべて手作業で行っており、混雑時には受付に長い時間がかかっていました。また、採血時の呼出しも名前で呼んでいたため、言い間違いや聞き間違い、同姓同名による患者さんの取り違えが発生するリスクがありました。

システム導入後は、受付から採血管準備、患者照合までをすべて自動化し、安全性と効率性が大きく向上しました。患者さんにとっても、よりスムーズで安心な採血が可能になっています。



採血ブース

更新した機器について

■ 採血・採尿受付機
“AI-500”

採血・採尿のオーダー情報に応じて、採血整理券や尿検査カップを自動発行する装置です。磁気カードリーダー（診察券の挿入）やICカードリーダー（診察券のバーコード）による受付に対応しています。当院では3台設置しています。



■ 自動採血管準備装置
“BC・ROBO-8001RFID”

正確かつ迅速に採血管を準備する装置です。採血管に検査ラベルを自動で貼付することで、患者さんや検査時の取り違えを防止します。



■ 患者呼出・患者照合装置
採血情報端末

採血指示書、採血管、採血整理券を用いて患者照合を行う装置です。アレルギー情報や医師からの検査コメントなども表示されるため、重要事項の確認漏れを防止します。採血ブースごとに1台設置しています。



採血室からのお知らせ

採血室では、正確で迅速な採血の実施に努め、患者さんの待ち時間短縮を目指していますが、曜日や時間帯によっては長くお待ちになる場合があります、ご迷惑をおかけしております。

患者さんの待ち時間をさらに短縮するため、2026年4月（来年度）より「予約採血システム」による運用を開始予定です。

● 診察・予約検査時間の90分前（一部時間帯を除く）から採血を実施します。

※ 予約検査は時間指定のある検査が対象となります。

※ 採血・採尿の受付は7時45分以降いつでもできます。

※ 「複数の診療科の受診」や「予約検査と診察予約がある」場合には、一番早い時間に合わせた採血開始時間で採血いたします。

● 土曜日（第2土曜日は除く）は、採血開始時間に関係なく採血いたします。

運用が変更となりご不便をおかけすることもあるかと思いますが、ご理解とご協力をお願いいたします。